

費用便益分析 総括 (H26 検討業務)

(1) 米子駅将来利用者数の整理

- 鉄道利用者数： 北側広場・南側広場利用 (交通手段別)
- 広場利用者数： 北側広場・南側広場利用
- 自由通路のみ利用者数

※「駅北側居住者」「駅南側居住者」とあるのは、その反対方向の流れである「駅北側に目的地を持つ者」「駅南側に目的地を持つ者」も含むものと解釈する

算出根拠と結果 (案)

●鉄道利用者数；計画乗降客数	7,500 人/日	
⇒ 駅北側より (北側広場経由) 70%	5,250 人/日	⇒駅アクセス交通手段比率で案分
⇒ 駅南側より (南側広場経由) 30%	2,250 人/日	⇒ "
●広場利用者数；鉄道利用者数の 1.5 倍		
⇒ 内、広場のみ利用 $7,500 \times 0.5 =$	3,750 人/日	
⇒ 北側広場利用 70%	2,625 人/日	⇒徒歩によるアクセス
⇒ 駅北側より 70%	1,838 人/日	
⇒ 駅南側より 30%	787 人/日	
⇒ 南側広場利用 30%	1,125 人/日	⇒徒歩によるアクセス
⇒ 駅北側より 70%	788 人/日	
⇒ 駅南側より 30%	337 人/日	
(※すべて人口比率で案分)		
●自由通路のみ利用者数；鉄道利用者の 10%	750 人/日	⇒徒歩によるアクセス

(2) 便益計測

1. 広場整備の便益
2. 自由通路整備の便益

※都市再生交通拠点整備事業に関する費用便益分析マニュアル (案) による

<日あたりの便益>

1. 広場整備の便益
 - 広場整備による歩行者の移動サービス向上便益 83,240 円
 - 滞留・交流機会増大・都市景観向上便益 8,324 円
2. 自由通路整備の便益
 - 鉄道利用者の時間短縮便益 282,280 円
 - 広場利用者の時間短縮便益 298,272 円
 - 自由通路通過者の時間短縮便益 117,000 円
 - 歩行者の移動サービス向上便益 181,500 円
 - 上下移動快適性向上便益 18,150 円

1・2 合計 988,766 円/日
⇒ 初年度便益 360.90 百万円

(3) 費用整理

事業費、維持管理費

※事業費 46.5 億円 (税抜、内用地費 211 百万円)
維持管理費 15 百万円/年 × 40 年間 (H24.8 報告書を参考)

(4) 費用便益分析

- ・供用 平成 33 年
- ・事業期間は 6 年間 (H27~H32 年度)
- ・計測期間 40 年間
- ・社会的割引率 4.0%

※すべて現在価値化 (H26 年価格)

- ・便益 5,645.49 百万円
- ・費用 4,092.50 百万円
- ・費用便益比 1.38